

出雲市全体 業種別景況（令和7年10月～令和7年12月期）

〈全業種〉

1. 売上・採算・資金繰り等の状況												
	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年7月～9月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				前年同期(令和6年10月～12月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				今期(令和7年10月～12月期)と比べた 来期(令和8年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	39.8	36.4	23.9	15.9	27.3	40.9	31.8	△ 4.5	15.3	45.5	39.2	△ 23.9
2 採算(営業利益)	27.8	51.1	21.0	6.8	19.9	49.4	30.7	△ 10.8	10.8	56.3	33.0	△ 22.2
3 資金繰り	13.6	70.5	15.9	△ 2.3	6.3	73.9	19.9	△ 13.6	8.0	67.0	25.0	△ 17.0
4 業況	16.9	65.7	17.5	△ 0.6	13.3	62.0	24.7	△ 11.4	10.2	57.2	32.5	△ 22.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	2.8	54.0	43.2
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	22.2	47.2	30.7
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	31.4	30.3	38.3

  

2. 新規設備投資								
	実施・計画 した	実施・計画 していない						
		土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他	
1 今期	45.7	7.7	14.3	22.0	22.0	31.9	2.2	54.3
2 来期	38.3	5.6	13.9	2.8	30.6	36.1	11.1	61.7

  

3. 経営上の問題点									
経営上の問題点	1位			2位			3位		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	32.7	10.2	7.3	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	1.3	3.3		
2 新規参入業者や大型店との競合激化	6.3	3.8	5.3	10 支払利息の負担増	1.3	1.3	0.7		
3 受注(客)単価の低下	2.5	6.4	2.6	11 売掛金の回収難	0.6	0.6	1.3		
4 原材料等の調達難	1.3	3.8	2.0	12 事業資金の借入難	1.9	0.6	2.6		
5 原材料等価格の上昇	17.0	19.7	13.2	13 従業員の確保・定着難	17.0	8.9	6.0		
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	1.3	12.1	17.9	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	2.5	8.9	15.2		
7 価格転嫁難	0.6	4.5	11.3	15 その他	0.6	0.6	1.3		
8 人件費の増加	14.5	17.2	9.9						

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

**《建設業》**

1. 売上・採算・資金繰り等の状況 <span style="float:right">(%)</span>												
	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年7月～9月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				前年同期(令和6年10月～12月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				今期(令和7年10月～12月期)と比べた 来期(令和8年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	29.2	45.8	25.0	4.2	12.5	54.2	33.3	△ 20.8	8.3	62.5	29.2	△ 20.8
2 採算(営業利益)	25.0	58.3	16.7	8.3	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	4.2	75.0	20.8	△ 16.7
3 資金繰り	12.5	66.7	20.8	△ 8.3	4.2	66.7	29.2	△ 25.0	12.5	70.8	16.7	△ 4.2
4 業況	16.7	66.7	16.7	0.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	8.3	62.5	29.2	△ 20.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	0.0	33.3	66.7
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	33.3	54.2	12.5
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	33.3	37.5	29.2

2. 新規設備投資 <span style="float:right">(%)</span>								
	実施・計画 した	実施・計画 していない						
		土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他	
1 今期	76.7	13.0	8.7	8.7	30.4	34.8	4.3	23.3
2 来期	56.7	11.8	23.5	0.0	29.4	35.3	0.0	43.3

3. 経営上の問題点 <span style="float:right">(%)</span>								
経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位	
1 需要の停滞、受注・客数の減少	32.1	17.4	4.5	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0	
2 新規参入業者や大型店との競合激化	14.3	0.0	9.1	10 支払利息の負担増	0.0	0.0	0.0	
3 受注(客)単価の低下	0.0	0.0	0.0	11 売掛金の回収難	0.0	0.0	0.0	
4 原材料等の調達難	0.0	0.0	0.0	12 事業資金の借入難	0.0	4.3	9.1	
5 原材料等価格の上昇	10.7	39.1	13.6	13 従業員の確保・定着難	25.0	17.4	4.5	
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	0.0	8.7	36.4	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	3.6	0.0	0.0	
7 価格転嫁難	0.0	0.0	9.1	15 その他	0.0	0.0	0.0	
8 人件費の増加	14.3	13.0	13.6					

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)  
 ・民間の建設工事が少ない。関税の影響はわからない。  
 ・材料価格の上昇が頻繁に行われるが、受注価格には転嫁しにくい現状がある。

**《 製 造 業 》**

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年7月～9月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				前年同期(令和6年10月～12月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				今期(令和7年10月～12月期)と比べた 来期(令和8年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	40.0	34.3	25.7	14.3	31.4	34.3	34.3	△ 2.9	14.3	45.7	40.0	△ 25.7
2 採算(営業利益)	31.4	42.9	25.7	5.7	25.7	42.9	31.4	△ 5.7	11.4	60.0	28.6	△ 17.1
3 資金繰り	22.9	51.4	25.7	△ 2.9	17.1	57.1	25.7	△ 8.6	14.3	57.1	28.6	△ 14.3
4 業況	24.0	56.0	20.0	4.0	16.0	56.0	28.0	△ 12.0	8.0	60.0	32.0	△ 24.0

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	8.6	51.4	40.0
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	25.7	51.4	22.9
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	45.7	31.4	22.9

**2. 新規設備投資** (%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない						
		土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他	
1 今期	58.5	4.2	12.5	37.5	12.5	33.3	0.0	41.5
2 来期	36.1	0.0	15.4	0.0	30.8	46.2	7.7	63.9

**3. 経営上の問題点** (%)

経営上の問題点	1位			2位			3位		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	39.4	12.5	5.9	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	3.1	0.0		
2 新規参入業者や大型店との競合激化	0.0	3.1	0.0	10 支払利息の負担増	0.0	3.1	2.9		
3 受注(客)単価の低下	0.0	6.3	0.0	11 売掛金の回収難	3.0	0.0	0.0		
4 原材料等の調達難	6.1	3.1	2.9	12 事業資金の借入難	0.0	0.0	2.9		
5 原材料等価格の上昇	9.1	21.9	20.6	13 従業員の確保・定着難	18.2	3.1	2.9		
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	0.0	12.5	11.8	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	3.0	12.5	17.6		
7 価格転嫁難	0.0	0.0	14.7	15 その他	0.0	0.0	0.0		
8 人件費の増加	21.2	18.8	17.6						

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

**4. 業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)**

- ・物価高騰の影響はあります。価格転嫁交渉を何回もする必要があり、その為の工数がかかる。また、新卒採用をするために提示する給与額を上昇させる必要があり利益を圧迫する。
- ・仕入れ価格が高騰し、原料確保が厳しくなる事が予想される
- ・原材料の高騰
- ・物価高騰、物流費、人件費何かもかにも上がり少々の値上では利益が取れない。少しの値上げでも末端は大きく変わって来るので買い控えも心配。
- ・新規品の立ちあがり遅れ(トランプ関税要因)
- ・茶業界は原材料高騰と原料確保の困難に直面しています。原材料確保出来ない商品は廃盤や休止の扱いになり、売上減が見込まれ状況です。
- ・お茶関連の輸出が好調
- ・酒米が大幅に値上がりしている状況下で利益を確保することの困難さを求められている状況です。

**《 卸 売 業 》**

1. 売上・採算・資金繰り等の状況 (%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年7月～9月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				前年同期(令和6年10月～12月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				今期(令和7年10月～12月期)と比べた 来期(令和8年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	41.2	29.4	29.4	11.8	23.5	35.3	41.2	△ 17.6	11.8	41.2	47.1	△ 35.3
2 採算(営業利益)	17.6	58.8	23.5	△ 5.9	17.6	58.8	23.5	△ 5.9	11.8	47.1	41.2	△ 29.4
3 資金繰り	5.9	76.5	17.6	△ 11.8	5.9	82.4	11.8	△ 5.9	0.0	82.4	17.6	△ 17.6
4 業況	11.8	58.8	29.4	△ 17.6	11.8	64.7	23.5	△ 11.8	11.8	58.8	29.4	△ 17.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	11.8	47.1	41.2
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	29.4	52.9	17.6
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	35.3	29.4	35.3

2. 新規設備投資 (%)

	実施・計画した							実施・計画していない
	土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他		
1 今期	38.1	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	61.9
2 来期	44.4	0.0	25.0	0.0	37.5	25.0	12.5	55.6

3. 経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位			2位			3位		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	31.3	6.3	14.3	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	6.3	21.4		
2 新規参入業者や大型店との競合激化	6.3	12.5	7.1	10 支払利息の負担増	6.3	0.0	0.0		
3 受注(客)単価の低下	0.0	0.0	0.0	11 売掛金の回収難	0.0	6.3	7.1		
4 原材料等の調達難	0.0	0.0	0.0	12 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0		
5 原材料等価格の上昇	18.8	12.5	7.1	13 従業員の確保・定着難	18.8	6.3	0.0		
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	0.0	12.5	21.4	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	0.0	0.0	7.1		
7 価格転嫁難	0.0	12.5	7.1	15 その他	0.0	0.0	0.0		
8 人件費の増加	18.8	25.0	7.1						

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・ばけばけ効果も有り、観光客は安定。
- ・買い控えの影響がどのくらいでるか先が読めない
- ・年明け以降の受注が前年を下回っている

**《小 売 業》**

1. 売上・採算・資金繰り等の状況 <span style="float:right">(%)</span>												
	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年7月～9月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				前年同期(令和6年10月～12月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				今期(令和7年10月～12月期)と比べた 来期(令和8年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	31.3	43.8	25.0	6.3	27.1	45.8	27.1	0.0	18.8	47.9	33.3	△ 14.6
2 採算(営業利益)	22.9	54.2	22.9	0.0	14.6	54.2	31.3	△ 16.7	10.4	56.3	33.3	△ 22.9
3 資金繰り	12.5	72.9	14.6	△ 2.1	2.1	75.0	22.9	△ 20.8	4.2	68.8	27.1	△ 22.9
4 業況	16.7	66.7	16.7	0.0	10.4	58.3	31.3	△ 20.8	12.5	52.1	35.4	△ 22.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	0.0	68.8	31.3
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	27.1	39.6	33.3
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	25.0	22.9	52.1

2. 新規設備投資 <span style="float:right">(%)</span>							
	実施・計画 した	実施・計画 していない					
		土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他
1 今期	30.8	0.0	18.8	12.5	25.0	43.8	0.0
2 来期	30.0	0.0	13.3	6.7	20.0	40.0	20.0

3. 経営上の問題点 <span style="float:right">(%)</span>								
経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位	
1 需要の停滞、受注・客数の減少	33.3	9.5	7.9	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0	
2 新規参入業者や大型店との競合激化	8.3	14.3	5.3	10 支払利息の負担増	0.0	0.0	0.0	
3 受注(客)単価の低下	5.6	14.3	7.9	11 売掛金の回収難	0.0	0.0	0.0	
4 原材料等の調達難	0.0	7.1	7.9	12 事業資金の借入難	2.8	0.0	0.0	
5 原材料等価格の上昇	16.7	0.0	0.0	13 従業員の確保・定着難	16.7	9.5	5.3	
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	2.8	0.0	0.0	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	2.8	14.3	23.7	
7 価格転嫁難	0.0	9.5	5.3	15 その他	0.0	0.0	0.0	
8 人件費の増加	11.1	0.0	0.0					

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

**4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)**

- ・物価高騰で商品が売れないのに、賃金を上げて、会社の救済がないので苦しい。
- ・原材料の値上げによる価格上昇が昨年同様今年も見込まれ、お客の購買控えにつながるのではと心配しています。情報発信の重要性を感じています。
- ・仕入れ価格が上がっているが、全て価格に転嫁できているため利益率は確保できている
- ・購買意欲は低く、賃上げにより人件費が上がるので、派遣で雇用する時給1800円支払う必要があり、雇用しようと思えないのが現実です。
- ・少子高齢化による人口減少の影響があります。そのため、新規事業の推進、変化が求められる。事業承継を上手く進行していく必要があると感じています。

《サービス業》

1. 売上・採算・資金繰り等の状況 <span style="float:right">(%)</span>												
	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年7月～9月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				前年同期(令和6年10月～12月期)と比べた 今期(令和7年10月～12月期)の状況				今期(令和7年10月～12月期)と比べた 来期(令和8年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	51.9	28.8	19.2	32.7	32.7	36.5	30.8	1.9	17.3	36.5	46.2	△ 28.8
2 採算(営業利益)	34.6	48.1	17.3	17.3	23.1	46.2	30.8	△ 7.7	13.5	48.1	38.5	△ 25.0
3 資金繰り	11.5	80.8	7.7	3.8	3.8	84.6	11.5	△ 7.7	7.7	65.4	26.9	△ 19.2
4 業況	15.4	71.2	13.5	1.9	15.4	67.3	17.3	△ 1.9	9.6	57.7	32.7	△ 23.1

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	0.0	53.8	46.2
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	7.7	46.2	46.2
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	25.5	33.3	41.2

2. 新規設備投資 <span style="float:right">(%)</span>								
	実施・計画した							実施・計画していない
	土地	建物	機械設備	車輛・重機	機器・システム	その他		
1 今期	36.4	10.0	15.0	25.0	20.0	25.0	5.0	63.6
2 来期	35.2	10.5	0.0	5.3	36.8	31.6	15.8	64.8

3. 経営上の問題点 <span style="float:right">(%)</span>							
経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	28.3	6.8	7.0	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	4.7
2 新規参入業者や大型店との競合激化	4.3	2.3	4.7	10 支払利息の負担増	2.2	2.3	0.0
3 受注(客)単価の低下	4.3	4.5	4.7	11 売掛金の回収難	0.0	0.0	2.3
4 原材料等の調達難	0.0	9.1	0.0	12 事業資金の借入難	4.3	0.0	2.3
5 原材料等価格の上昇	26.1	15.9	14.0	13 従業員の確保・定着難	10.9	9.1	11.6
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	2.2	15.9	7.0	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	2.2	9.1	16.3
7 価格転嫁難	2.2	4.5	14.0	15 その他	2.2	2.3	4.7
8 人件費の増加	10.9	18.2	7.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数値が合わない場合があります

**4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)**  
 ・車両(トラック)の納期遅延、修理費、人件費の増大を価格転換できていない。消費税、インボイスを廃止し可処分所得をあげるため所得税の圧縮実施。年金制度が崩壊しているいま、社会保険制度の見直しを強く要望する。  
 ・賃金及び電気料金などが増加。価格転嫁交渉してもまた経費が増加する。